

『江戸絵画と笑おう』展関連ボランティア企画

ボランティアと一緒に笑おう



☆1章 楽しくて
「にやり」



1-1 鳥文斎栄之《三福神吉原通り図巻》



今宵は吉原へ
繰り出そう♪

俺達の大黒・恵比寿・福祿寿の三福神が、吉原に行くって？

本当だ。吉原だ。豪華！別世界の景色だ！

なんとまあ、大黒さんが居るのは大黒屋だけ。

新造、花魁、禿とさすがだね。姿形も目の保養。

眼福眼福。

三福神は といえば……。もう、このにやけ顔とその恰好。

俺達庶民の願い事なんてすっかり忘れてはしゃいでやがる。

誰が神様だと思うかい？ まるっきりコスプレ親父だけ。

さすが吉原、男衆は見ないふり。粋だね。

(S.U)

1-2 鳥文斎栄之《三福神吉原通り図巻》

展覧会の最初は、おなじみの福の神が連れ立って吉原に遊びに行きます。

今日はどの場面が出ていますか。

舟を降りてワクワク歩いて、花魁道中を仲良く眺めて、格子を覗いてこの店にしようとか言って、最後は大宴会で恵比寿さんの鯛も食べて、お金なら打出の小槌でいくらでも出せるよって三福神の「にやり」な表情は、見るほどに味が出て肉筆浮世絵名人の腕を感じます。

神様に遊郭通いをさせて面白おかしく描くなんて日本画は懐が深いですね。(M.F)

2 無款《八代目市川団十郎の死絵》四点

推しが逝ってしまった。32歳の若さで大坂で自ら旅立ってしまったスーパースター。

江戸っ子は老いも若きも猫までもが嘆き悲しんでいます。

数百種の死絵と言われる浮世絵が生きてる人のパワーにとユーモラスにポジティブに描かれます。

涅槃図ではなんとか触れようと近づく人、足を舐める人もいます。

賽の河原では、次に演じるはずだった児雷也が子供達を助けています。

無常の風では、行かせてなるものかと取りすぎるファンの必死な形相にクスッと笑ってしまいます。

悲しみを悲しみに終わらせない、乗り越えていこうとする江戸っ子万歳!! (M.Mori)

3 歌川国芳《「荷宝蔵壁のむだ書」黄腰壁》

はてさてこれは浮世絵か？

いいえむだ書でございます。壁に釘で引っかいたような拙い絵。

揃いも揃って不細工だけど、誰だか直ぐに分ちまうから不思議です。

何故って「荷宝」は「似たから」のひっかけだから歌舞伎役者に違いねえ

手ぬぐいかぶったくねくね猫のしっぽは二股。

ずいぶんとぼけた化け猫だ。

これではお上も咎めまい。

洒落と頓智がきいてるぜ。元祖ウマヘタ絵の達人、さすが国芳大できだ！(M.S)

4 英一蝶《張果老・松鷲・柳烏図》

—今に通じる自由な発想、明るく楽しいおおらかな画

三幅対です。仙人、張果老の伝説は古くから親しまれてきたのでしょうか。瓢箪のシルエットにより、仙人が瓢箪の中にいるようにも、遠くの国の仙人ではなく近所の祖父と孫の風景にも感じられ、遊びごろにあふれた作品です。烏と鷲は羽や目に表情があります。柳烏、松鷲から仙人へ。烏と鷲、黒白の対比に、仙人と童子の色合いが優しく映り、その指す方に駒が現れます。江戸の人々はこの作品から伝説を語り、楽しんだのでしょうか。(Y.Su)

* 前期展示 (7月13日～8月15日)

☆2章 かわいくて
「うふふ」



6 長澤蘆雪・會道怡 《花鳥蟲獸図巻》

—元祖ゆるかわ系？

円熟期42歳の時の作品。画面は晩春から初夏にかけての情景。

蓮華草の生えた地面に蟻がいて描写は細密。なかでも子犬達の描写に人気。

師の円山応挙の得意とした子犬の表現を継承。澆刺としたリアルな姿を捉えて応挙の子犬「かわいい」に比べて蘆雪の子犬はのんびりとしたリラックスモードが漂い「ゆるくてかわいい」と。後姿の後足がだらりと伸びた姿「ゆるさ」が愛される。

いつも後姿の黒い子犬がこの作品では白く描かれている。(K.K)

5 英一蝶《四条河原納涼図》

—酔っ払って背負われた様子に思わず「にやり」

夏の風物詩、京都鴨川の納涼床の様子を描いた風俗画の一幅です。

空には月、酒を酌み交わし、酔って寝そべり、川の水に手足をつけ涼を楽しみます。女も頬に手をやり酔った様子。着物は粋な色柄で、筆致には洗練された繊細さがあります。

背負われる人は一蝶その人、床の人は一蝶の気の置けない遊び仲間のように思えてきます。(Y.Su)

* 後期展示 (8月16日～9月20日)



イラスト (Ma.T)

7 無款 (歌川芳藤か) 《新板 猫之善悪》

猫ちゃん達の人生模様が描かれています。線に沿って切り離したら「ザ・人生ゲーム～善悪かるたVer.～」なる、かるた遊びが出来そうです。

二人(?)の猫ちゃんを、それぞれ幸福、不幸に導いていくのは、善玉さん、悪玉さん達です。

複数人でチームを組んで、猫ちゃん達の背中を押したり、そそのかしたり、糸でつないでみたりと、縦横無尽に大活躍！

コミカルな動きがとっても楽しく、いい仕事します！(M.Su)

* 前期展示 (7月13日～8月15日)

8 奥村政信《月次風俗雛屏風》

まるでお雛様のために詠えたような可愛らしい、小さな押絵貼屏風です。

源氏物語や邯鄲・江口などの謡曲の場面も描かれ、雅な趣です。

あれ、でもよく見ると鍾馗様の鬼退治から逃れるために、傘の上に乗った子鬼。

酒好きの狸々は真っ赤な大きな盃の舟に美女と一緒にです！

江戸前期、浮世絵師や版元として活躍した作者は、肉筆美人画や諧謔味溢れる見立て絵も多く手がけました。

小さな作品に溢れる江戸の笑い。どうぞ、ゆっくりと楽しんでください。(S.N)

9 伝徳川家光《墨絵 子供遊図》

家光様の絵がおもしろすぎます！

どう考えても紙に対しての絵の大きさがアンバランス。「めいっばい描こうよ！」と声を掛けたいくなります。

徳川家光といえば幕府の基礎を築いたお方。下賜された家臣はどんな顔で受け取ったのでしょうか、ありがたいけど笑っちゃいそうです。

御用絵師に狩野探幽もいたのですから、あえての描き方なのでしょうか？そう考えると禅画のようにも見えてきました。

ゆるかわいいオススメの1作品です。(Ma.H)



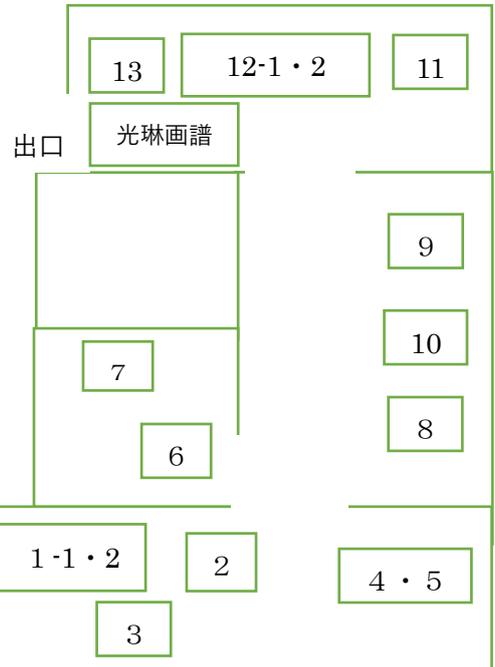
10 久隅守景《四季耕作図》

色鮮やかな錦絵に囲まれて、この一角はちょっと地味ですね。でもよく見ると、かわいくて「うふふ」なこの屏風。春から夏の農民の暮らしが描かれています。

生真面目な口バの顔、眉毛もあって漫画のようです。夕立で破傘や布切れに駆け込む人々が、身を寄せあって笑う声が聞こえるようです。

作者の久隅守景は家族を描いた《納涼図屏風》で有名ですが、狩野派を破門になり家族が離散した喪失感の中でこうした温かい作品を残しました。(M.F)

*前期展示(7月13日~8月15日)



お楽しみ動画
「どこでもえどわら！」
見てね

中村芳中《光琳画譜》ボラのお薦め その1

- ・ 亀図：昔、親戚の結婚式の引出物に鶴と一緒に居たような気がする
- ・ 六歌仙：安定の三角構図 ・ 蝦蟇鉄拐：鉄拐仙人ヨガポーズ
- ・ 白梅：老木とすくっと伸びた枝、ゴツゴツした幹とまあるい白梅、が対照的
- ・ 竜胆と蒲公英：踊る蒲公英と奏でる竜胆、どんな風が吹いているのかしら
- ・ 子犬：ユルカワ子犬はお昼寝中 まるい！！ゆるふわワンちゃん
- ・ 立葵：色、形、配置のバランスが絶妙でとってもオシャレ墨のにじみもお見事です！
- ・ 鼠：白鼠、しっぽの付け根の赤い傷…喧嘩したのかな？
- ・ 竹林七賢：芝ならぬ竹林の密談





☆3章 いやされて
「うふふ」



11 中村芳中《白梅図》

大坂の絵師、芳中。様々な技術で少し大坂らしいコテコテ感。なのにとってもほっこりしてホッとさせてくれます。
立体感のあるどっしりとした幹、上へ上へとまっすぐに伸びる枝。
まんまるな花は光琳風だけど、こちらを向いて何か呼ばれてる気分。
お会いするたびに、声が聞こえてしばらくお話ししてしまう。
皆さまも是非立ち止まって対話してみてください。 (M.Mori)

12-1 仙厓義梵《鍾馗図》

—鍾馗様！コロナも一刀両断お願い致します
仙厓義梵は、福岡県博多にある臨済禅宗・聖福寺の高僧。難しい仏教の教えを、風刺やユーモアを交えながら絵にし、請われるまま村人たちに配りました。この鍾馗図もそのひとつ。本来は怖い形相の鍾馗様、ここでは何処となくおどけた風。真二つになった小鬼も、ひらひら宙に浮き風船のよう。でもこの小鬼、実は天然痘の化身。鍾馗様は、疫病封じの神様なんですよ。
(S.A)

12-2 仙厓義梵《鍾馗図》

ひげ面のおおとこのはずが・・・。
こんなユーモラスな鍾馗さんなかなかお目にかかれなかもしれません。
本来魔除けとしても崇められる髭面の大男。
禅僧が描いた絵は、誰にでもわかりやすく教えを広めるためのもの。この絵のゆるさ身近に感じませんか。
一刀両断には決断の速やかさという意味も。奇しくも経営学者ピーター・ドラッカーのコレクションの一つです。
さて鍾馗さん、身体はどちらを向いているのでしょうか？ (S.H)

13 仙厓義梵《蛙図》

墨一色の濃淡でのびのびと描かれたカエル図に思わず「うふふ」。ごちそう「みみず」を前にしたカエルに微笑むと、力強い贅が目に飛び込んでくる。美濃（岐阜県）出身で、人生の後半は九州福岡で生涯を終えた江戸時代の禅僧「仙厓」が生きた江戸時代とは、果たして天下太平の世であったのか、タイムスリップしてみました。浅間山大噴火他、8回の飢饉や凶作に多くの日本人が苦しみ、今よりも寒冷的な300年だったとか。この「カエル図」に、コロナに打ち勝つ気力と忍耐力を頂きました。
(M.Sa)



中村芳中《光琳画譜》ボラのお薦め その2

- ・舞囃子：後ろのバンドマン達が笑顔でとっても楽しそう！特に緑の着物さん、ノリノリです
- ・鶏頭と朝顔："おぼろ月"のような朝顔ですね そうっと触れてみたくなる、真っ赤なふわふわとしたケイトウの花
- ・高砂：むか～し昔、あるところにおじいさんとおばあさんが住んでいました、の世界
- ・菊：思わず練り切りと美味しいお茶を想像してしまった 和菓子の練り切りを連想、抹茶と共に！！美味しそうな和菓子を想像しちゃいます
- ・大原女：体幹トレーニング！
- ・波千鳥：夫婦円満・家内安全の吉祥文様
- ・三福神：三福神の三角関係？！行方が気になる～

